元気っ子　Ｎｏ217 ながさわ保育園

平成 27 年 9 月号

園　長　　市　川　温　予

今年も記録的な猛暑が続きましたが、朝晩少しずつ涼しくなってきました。今年の夏も子ども達一人ひとりがその子なりの楽しみ方でプールや水遊び、泥んこ遊びなど水とかかわる方法を知り、日を重ねるごとにダイナミックに活動するようになりました。猛暑の中、照りつける太陽の下で、水の冷たさ、心地よさを体感し、友達と一緒にワニ歩きをしたり、水のかけあいをしたり、潜ったりと全身で楽しさを表現し、キャーキャーと笑顔いっぱいの子ども達を見ていると、本当に子どもらしいなあと思います。

保育園のプール遊びは、泳げるようになることではなく、いかに友達や保育士と一緒に楽しみながら、水とかかわり、親しむかということを目的にしています。先生達も毎日プールカードをチェックし、子ども達の体調をよく観察し、安全面に配慮しながら、毎日楽しくプール遊びができるように工夫し、子ども達の成長を支えてくれました。

先月（8 月）の各クラスの保育目標に、“プール遊び、水遊び、泥んこを楽しむ”や“水の冷たさや気持ちよさを感じながら水遊びを楽しむ”などがありましたが、どのクラスも目標は達成できたと思います。プール遊びの最終日（８月２７日）は、プール、泥んこ、泡遊びと子ども達も先生達も本当に楽しそうに遊んでいました。

子ども達はやりたいこと（興味、関心のあること）をしている時、最も輝いて見えます。生き生きし、とてもいい表情をしています。なんでもそうですが、自分でやってみたいと思わないと力にならないのです。大人に、指示されてやらされている時は力にはなりません。いろんな経験を積み、いろんな刺激を受けて、「やってみたい・・できるかな？・・やってみよう。」とだんだん心が動き、成長していきます。この夏、子ども達は大きく成長しました。顔に水がかかっても平気になったこと、プールで顔つけができるようになったこと、潜れるようになったこと、自分でセミを捕まえたこと　、プールに入った後、きちんと体がふけるようになったこと、おんべ川まで頑張って歩いたこと、川で飛び込みができたことなど、子ども達にとってはどれも大切な実体験です。

この成長した力をバネにまたいろんなことを経験し、強く、優しく、たくましく育っていってほしいと思います。

手足口病

（症状）

発熱は 38℃前後で、手のひら、足の裏、指の間、口の中に痛みを伴います。水泡や痛みをもった米粒のようなブツブツができます。口の中は水泡ができると破れて口内炎になり、食欲が落ちます。

潜伏期間・・・3 から 6 日

感染経路・・・飛沫感染、糞便感染

（おうちでのケア）

・水分補給をしましょう。

・手洗いをしっかりしましょう。

・口の中にできると痛みが伴うので、のど越しの良い食べ物をあげましょう。